

福良港津波防災ステーションは、津波防災に関する2つの目的をもった施設です。保育所から小学校、中学校まで多くの子供たちが利用しています。また、県内外、海外から視察や研修にたくさんのひとが訪れます。

1. 津波に備える知識を広く皆様に知っていただく施設です。
2. 地域の皆様が、交流活動を通して、広く防災ネットワークを作っていただく拠点です。



愛称は『うずまる』です。うずしおのようにまるく、福良の町を守る。



福良地区津波避難7箇条

- ① 揺れが小さくても1分以上揺れたら、すぐ避難。
- ② 30分以内に避難場所へ逃げる。こと。(福良では)
- ③ てんでんばらばらで逃げられる信じあえる家族づくり、地域づくり。
- ④ 少しでも高いところを目指すこと。
- ⑤ 建物へ逃げ込むのは最後の手段。
- ⑥ 一度避難したら、絶対に家に戻らない。
- ⑦ 避難のためにも、住宅の耐震化、家具の固定。



団体での来館も多く、様々な方に津波防災について学習・体験いただいています！

来館者数(人)：平成22年9月～令和5年2月まで

平成22年度	8,307
平成23年度	17,933
平成24年度	19,248
平成25年度	16,520
平成26年度	17,408
平成27年度	15,216
平成28年度	16,912
平成29年度	19,182
平成30年度	22,317
令和1年度	19,768
令和2年度	12,739
令和3年度	13,419
令和4年度	17,069
令和5年度	16,572
合計	232,610

総来館者数
20万人達

津波防災と観光の両方に取り組んでいることが福良の自慢です。



はとさき 波戸崎リーダー

防災の取組を通じて、福良の「ひと」「まち」を知ってもらいたいです。



たにくち 谷口リーダー

自分で体験した防災の取組をみんなに伝えていきたいです！



ただ 多田リーダー

◆福良港津波防災ステーションでは、学習リーダーが常駐し、津波に対する防災学習を行っております。より多くのおみなさまにご来館いただきますようお待ちしております。



◆福良港津波防災ステーション

開館時間：10：00～16：00
休館日：毎週月曜日(※月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館日となります)

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1528-4
TEL:0799-50-2381 FAX:0799-50-2382
URL: http://www.tsunami-bousai.info
E-mail: info@tsunami-bousai.info



うずまるフェスタ、4年ぶりの現地開催!!

新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより開催できなかった「うずまるフェスタ」が4年ぶりに開催されました！当日は天気にも恵まれ、地域の皆さんや観光客など、多くの参加者が訪れました。

■開催概要

日時：令和5年10月15日(日) 10:00~12:00
場所：福良港津波防災ステーション
主催：うずまるフェスタ実行委員会

■オープニング

開会のあいさつの後、恒例の和太鼓や福良こども園の子ども達による演技が行われました。



力強い和太鼓演奏や、かわいらしい子どもたちの演技が披露され、いつものうずまるフェスタが久しぶりに帰ってきました！

■素麺のふるまい



南あわじ市の備蓄食料にもなっている素麺。淡路手延素麺協同組合のみなさんにより参加者へふるまわれました。

■八幡神社まで避難訓練

今回は、「避難場所まで歩いてみよう」ということで、八幡神社への避難訓練が実施されました。令和5年5月に新たに南あわじ市の緊急避難場所として指定された八幡神社までは約800mの道のり。避難完了までにかかる時間や、避難経路に問題はないかなどについて確認しました。要配慮者の避難も想定し、車いすを使った避難訓練も行われました。



避難完了までにかかった時間は11分。福良への津波到達時間は約50分と予測される中、迅速な避難行動が必要であることが再認識されました。

また、八幡神社の手前、急な坂道では車いすは3人がかりでなければ上るのが難しいことがわかりました。

■避難を振り返って～参加者からのコメント～

うずまるから八幡神社の場所が見えづらいのでのぼりを立てるなど、地域の人や観光客も誰にとってもわかりやすいよとしてはどうか。

車いすや寝たきりの人も増えていく。高齢の方の中には、助かることをあきらめてしまう人もいられるかもしれないが、皆で助かろうということを常々言っていくことが大事。

想定外もあるので、ここで避難完了と考えず、さらに高いバイパスまで逃げることも考えないといけない。



神社は石灯籠などの揺れに弱いものが多いので、避難先でけがなどしないように気を付けたい。

福良津波防災フォーラム2023を開催しました！

■開催概要

日時：令和5年12月10日（日）13:30～15:15

場所：福良地区公民館

主催：福良地区防災フェスタ実行委員会

内容：

- ・研究発表「津波に備えるまちづくり」
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科紅谷昇平 准教授
- ・講演「HAT こうべにおける防災+魅力発見まち歩きの実践」
シンガーソングライター・防災士 石田裕之 氏
- ・まちの防災+魅力発見ワークショップ

「津波防災日本一を目指すまち福良」をコンセプトとして、福良地区の観光とまちづくり、津波防災を併せた防災力の向上を目的に、福良地区の住民の方、大学などの研究機関、行政関係者など多くの方が参加されました。

■研究発表・講演

研究発表では、東日本大震災の津波による被害の紹介や、災害に強い地域についてのお話がありました。講演では、神戸での防災とまち歩きの取り組みについて紹介いただきました。

■ワークショップ

参加者の思う「福良における防災に関する場所」と「福良の魅力的な場所」をそれぞれ色の違う付箋に書いて地図に落とし込み、どんな意見が挙げられたかを全体で共有しました。



観光スポットや観光客の避難など、観光のまち福良ならではの意見もたくさん挙げられました。



石田氏により付箋の内容について参加者に詳しく聞くなど、みなさんと結果を共有されました。

■展示

会場には福良小学校の児童が授業で作成した防災マップなどが展示されました。マップには、土砂崩れや倒木の危険がありそうな箇所など、避難する際に危険になりそうなところが記されていました。



福良小学校の児童が作成した「福良防災マップ」

円卓会議 ～福良地区の観光まちづくり、津波防災を併せた防災力の向上に取り組んでいます～

6月27日と8月8日の2回にわたり、福良地区公民館にて福良円卓会議が開催されました。今年の円卓会議は、地域を盛り上げる事業や活動に取り組まれている地域の若手の方々も参加され、地域活性化と防災の視点から、これからの福良のために何かできることはないか、皆さんで意見交換されました。

その中で八幡神社まで実際に避難してみよう！というアイデアが出され、うずまるフェスタで実現されました。

福良の素麺が関西大学にやってきた！

6月18日、関西大学高槻キャンパスで行われたミュージックキャンパス祭で、奥村ゼミの皆さんによる福良の備蓄素麺を使ったそうめん模擬店が行われました！福良の備蓄素麺をPRするポスター展示やパンフレットも配布され、お店は途切れることなく行列ができるほど人気でした！



素麺は究極の防災食！

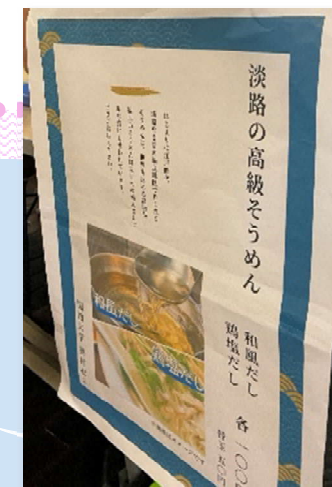


なぜ福良の素麺を模擬店に？

前田さん（関西大学奥村ゼミ3回生）にお話を伺ってみました。

そうめんは時間がたつほど品質が良くなるという特徴から、備蓄向きで、しかもおいしくなるという究極の防災食です。防災食として東日本大震災の被災地、東北へ届けられた実績もある福良の素麺のおいしさと取組について皆さんにぜひ知ってもらいたくて、模擬店の出店を考えました。被災時、食もままならない状況の中で、あったかいそうめんなら、少しでもほっこりしてもらえそうです！

大学に入学したころ、福良のまちは新型コロナのこともあり少しさみしい印象でしたが、これからは観光客も増え、活を取り戻して欲しいです！



～福良のそうめん～

福良のそうめんは、不漁期の漁師の副業として江戸時代から発達しました。古くは大正四年のサンフランシスコ万国博覧会で金賞を受賞し、世界にその味を認められた福良の素麺は、業界でも高級品として高く評価されています。日持ちの良さから、防災用の備蓄食糧としても用いられており、東日本大震災の被災地にも届けられました。

福良港湾口防波堤 ～避難を前提に浸水被害を軽減することが整備目標～

福良地区では、津波から逃げる対策である「ソフト対策」と、福良港湾口防波堤の整備など津波から守る対策である「ハード対策」によって総合的な防災対策を行っています。

※文、写真：福良港湾口防波堤パンフレット
津波防災インフラ整備計画（2020年7月版）



うずまると福良港湾口防波堤の位置



工事中の福良港湾口防波堤